

I 調査結果の概要

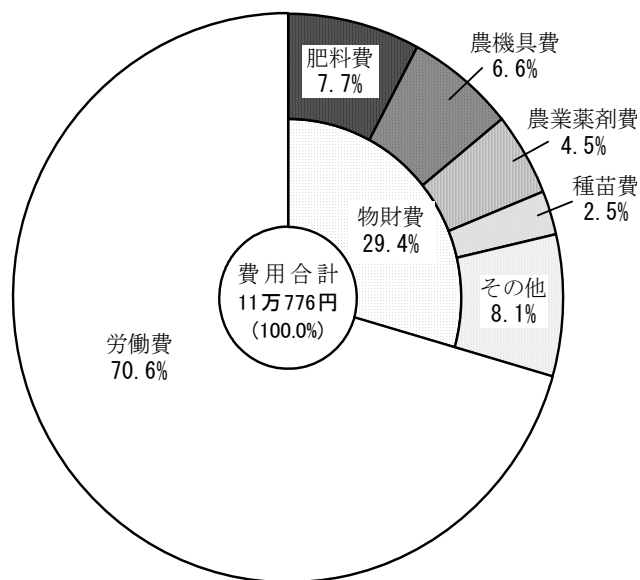
1 平成15年産原料用かんしょ生産費

図1 主要費目の構成割合（10a当たり）

(1) 平成15年産原料用かんしょの10a当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は12万3,500円で、前年に比べ0.7%減少し、100kg当たり全算入生産費は3,993円で、10a当たり収量の低下から前年に比べ11.7%増加した。

(2) 10a当たり全算入生産費が減少したのは、天候不順等により農業薬剤費が増加したものの、収量の減少により収穫の労働時間が減少し、労働費が減少したことなどによる。

(3) 10a当たり粗収益は9万7,697円で、10a当たり収量の低下から、前年に比べ11.0%減少し、10a当たり所得は5万5,873円で、前年に比べ20.7%減少した。



第1表 原料用かんしょの生産費及び収益性

単位 { 金額：円
増減率：%

区分	10 a 当たり		100 kg 当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
生産費	物財費	32 571	4.1	1 055	17.4
	労働費	78 205	△ 3.1	2 527	8.8
	費用合計	110 776	△ 1.1	3 582	11.2
	生産費（副産物価額差引）	110 776	△ 1.1	3 582	11.2
	支払利子・地代算入生産費	113 665	△ 0.8	3 675	11.6
	資本利子・地代全額算入生産費	123 500	△ 0.7	3 993	11.7
収益性等	収量	3 096 kg	△ 11.0	-	-
	粗収益	97 697	△ 11.0	-	-
	所得	55 873	△ 20.7	-	-

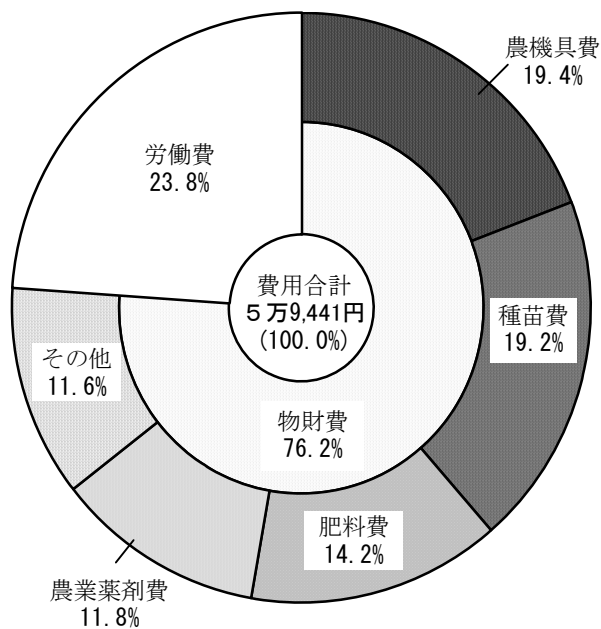
2 平成15年産原料用ばれいしょ生産費

図2 主要費目の構成割合（10a当たり）

(1) 平成15年産原料用ばれいしょの10a当たり全算入生産費は7万1,849円で、前年に比べ1.3%増加し、100kg当たり全算入生産費は1,541円で、10a当たり収量の上昇から前年に比べ0.8%減少した。

(2) 10a当たり全算入生産費が増加したのは、種苗費、労働費等が減少したものの、農機具費、肥料費等が増加したことによる。

(3) 10a当たり粗収益は8万4,004円で、10a当たり収量が上昇したことに加え、でん粉含有量が増加したことから、前年に比べ8.1%増加し、10a当たり所得は3万5,597円で、前年に比べ14.4%増加した。



第2表 原料用ばれいしょの生産費及び収益性

単位 { 金額：円
増減率：%

区分	10 a 当たり		100 kg 当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
生産費	物財費	45 301	4.0	972	1.9
	労働費	14 140	△ 1.5	303	△ 3.8
	費用合計	59 441	2.7	1 275	0.5
	生産費（副産物価額差引）	59 441	2.7	1 275	0.5
	支払利子・地代算入生産費	62 127	2.6	1 333	0.5
	資本利子・地代全額算入生産費	71 849	1.3	1 541	△ 0.8
収益性等	収量	4 660 kg	2.2	-	-
	粗収益	84 004	8.1	-	-
	所得	35 597	14.4	-	-

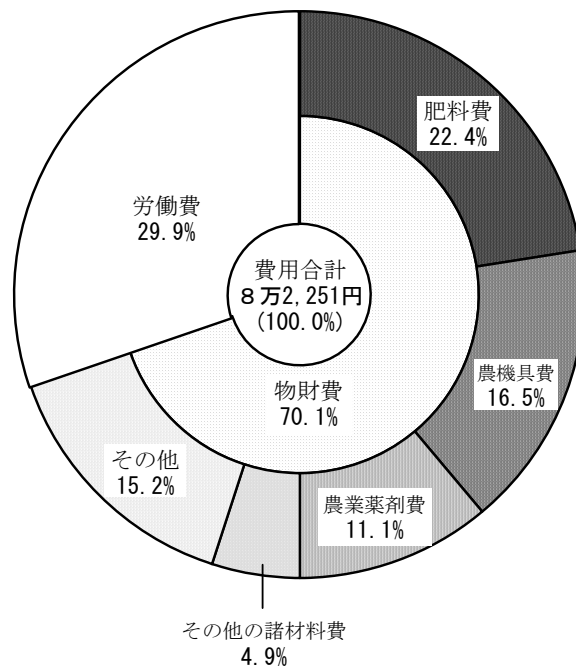
3 平成15年産てんさい生産費

図3 主要費目の構成割合（10a当たり）

(1) 平成15年産てんさいの10a当たり全算入生産費は9万5,253円で、前年に比べ0.6%減少し、1t当たり全算入生産費は1万5,691円で、10a当たり収量の低下から前年に比べ0.3%増加した。

(2) 10a当たり全算入生産費が減少したのは、農機具費等が増加したものの、収穫作業等の労働時間が減少したことに加えて労賃単価が低下したことから労働費が減少したことによる。

(3) 10a当たり粗収益は11万962円で、10a当たり収量は低下したものの糖度の上昇から、前年に比べ0.1%増加した。10a当たり所得は4万8,056円で、前年に比べ0.5%減少した。



第3表 てんさいの生産費及び収益性

単位 { 金額：円
増減率：%

区分	10 a 当たり		1 t 当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
生産費	物財費	57 633	1.6	9 493	2.5
	労働費	24 618	△ 4.3	4 056	△ 3.4
	費用合計	82 251	△ 0.2	13 549	0.7
	生産費（副産物価額差引）	82 251	△ 0.2	13 549	0.7
	支払利子・地代算入生産費	85 642	△ 0.8	14 108	0.1
	資本利子・地代全額算入生産費	95 253	△ 0.6	15 691	0.3
収益性等	収量	6 070 kg	△ 0.9	-	-
	粗収益	110 962	0.1	-	-
	所得	48 056	△ 0.5	-	-

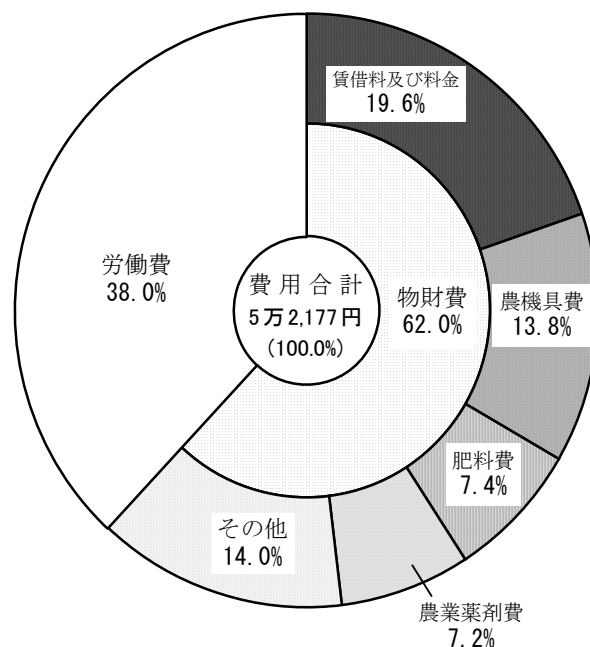
4 平成15年産大豆生産費

(1) 平成15年産大豆の10 a 当たり全算入生産費は6万6,803円で、前年に比べ3.4%減少し、60kg当たり全算入生産費は2万3,309円で、10 a 当たり収量の減少から前年に比べ18.6%増加した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が減少したのは、収量の大幅な減少等により労働費が減少したことや賃借料及び料金が減少したことなどによる。

(3) 10 a 当たり粗収益は4万8,102円で、収量が減少したものの、国産大豆の需要の高まり等から大豆販売価格が高騰したことから前年に比べ17.6%増加した。

図4 主要費目の構成割合（10 a 当たり）



第4表 大豆の生産費及び収益性

区 分		10 a 当 たり		60 kg 当 たり	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
生 産 費	物 財 費	32 374	△ 1.8	11 298	20.6
	労 働 費	19 803	△ 8.0	6 909	12.9
	費 用 合 計	52 177	△ 4.3	18 207	17.5
	生産費（副産物価額差引）	52 004	△ 4.3	18 146	17.4
	支払利子・地代算入生産費	56 937	△ 4.0	19 867	17.8
	資本利子・地代全額算入生産費	66 803	△ 3.4	23 309	18.6
収 益 性 等	収 量	172 kg	△ 18.5	-	-
	粗 収 益	48 102	17.6	-	-
	所 得	10 035	332.7	-	-

単位 { 金額：円
増減率：%

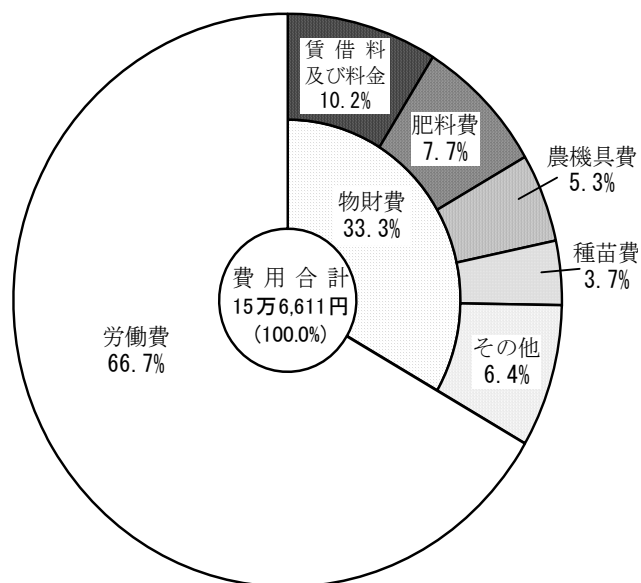
5 平成15年産さとうきび生産費

(1) 平成15年産さとうきびの10 a 当たり全算入生産費は17万5,349円で、前年に比べ3.6%減少し、1 t 当たり全算入生産費は2万9,193円で、10 a 当たり収量の増加から前年に比べ5.8%減少した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が減少したのは、収穫作業委託の増加により賃借料及び料金が増加したものの、収穫作業等の労働時間の減少に伴う労働費の減少や、肥料費が減少したことなどによる。

(3) 10 a 当たり粗収益は12万5,550円で、10 a 当たり収量の増加などから、前年に比べ3.1%増加し、10 a 当たり所得は5万7,571円で、前年に比べ3.3%増加した。

図5 主要費目の構成割合（10 a 当たり）



第5表 さとうきびの生産費及び収益性

単位 { 金額：円
増減率：%

区分	10 a 当たり		1 t 当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
生産費	物財費	52 135	1.2	8 678	△ 1.1
	労働費	104 476	△ 5.6	17 395	△ 7.7
	費用合計	156 611	△ 3.4	26 073	△ 5.6
	生産費（副産物価額差引）	156 376	△ 3.5	26 034	△ 5.7
	支払利子・地代算入生産費	161 546	△ 3.4	26 895	△ 5.6
	資本利子・地代全額算入生産費	175 349	△ 3.6	29 193	△ 5.8
収益性等	収量	6 007 kg	2.3	-	-
	粗収	125 550	3.1	-	-
	所得	57 571	3.3	-	-